ひろば・ちがさき

No. 772
2007年11月16日
市民会議・市民自治市議団
茅ヶ崎市茅ヶ崎1－1－1
市役所内　0467(82)1111

市民会議・市民自治市議団
中嶋　てるお
TEL 86－5643
須田　ゆずる
TEL 86－8788
岸　正明
TEL 87－8766
小磯　妙子
TEL 52－6731
和田　清
TEL 67－5980

相模川河畔スポーツ公園、柳島向河原地区に移転
5．8haに陸上競技場等、平成26年度利用開始予定

懸案になっていた相模川河畔スポーツ公園の移転先について、市は小出地区にするか柳島にするか2候補地を上げて検討してきましたが、ここへ来て柳島の方が適地であるとの判断を下し移転先は柳島向河原地区（下図）と決定し議会側に報告して来ました。★

移転先は下図の通り市立柳島小学校の南側で市道柳島小和田線（鉄砲道）の北側に位置している農地で、ここの5・8haを利用して、第3種公認の陸上競技場、芝生公園、ジョギングコース、250台分の駐車場（大20台・小230台）、バスターミナル等を整備するそうです。事業費はおよそ57億7千万円と推計しています。

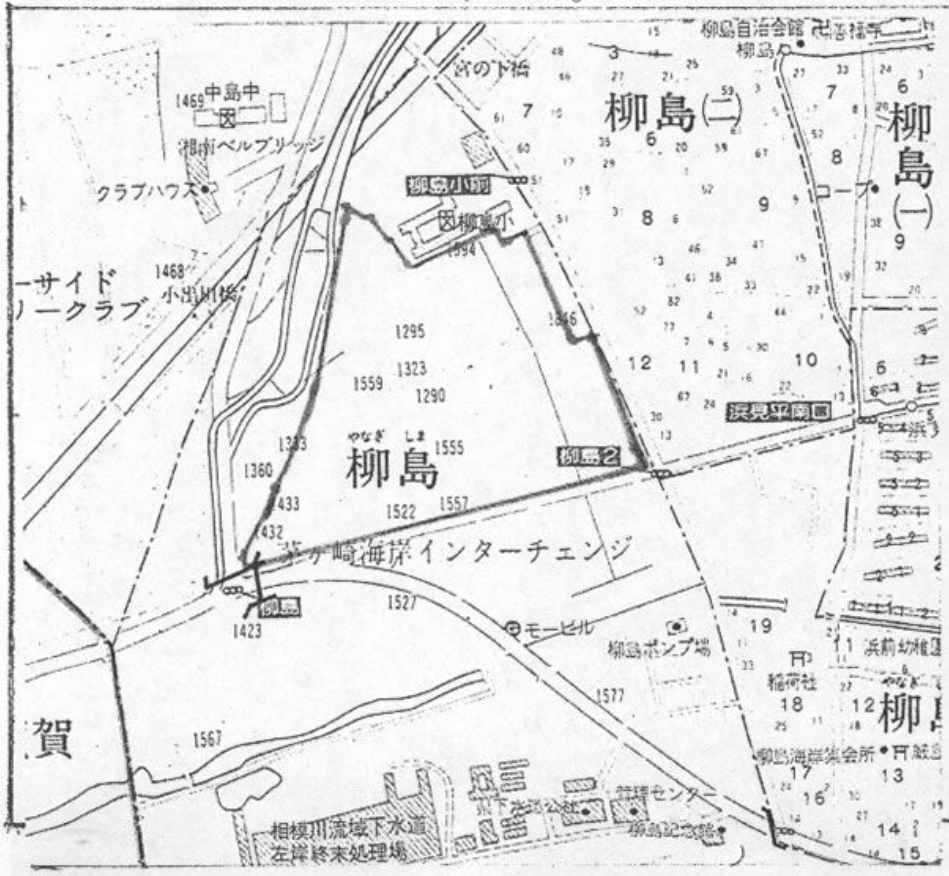
市は小出よりも柳島の方が移転先として適地であるという理由を次のように述べています。

①アクセス　周辺を幹線道路に囲まれアクセスが良い。今後新湘南国道・さがみ縦貫道の整備が進めば、市内はもとより近隣市・町からのアクセスもさらに良くなり、来場者への利便性がより向上する。また、平坦地であるため、自転車での来場が容易である。

②環境への影響　農業振興地域であるが、すでに農用地の指定は解除されており、陸上競技場整備による自然環境への影響は少ない。また、市街化調整区域内において今後予想される無秩序な土地利用を防止することができる。

③その他　陸上競技場（スポーツ公園）としては、現在の場所と同じ地区内での移転であり、市民の理解を得やすい。

海沿いに残された湘南随一の広大な土地であり、スポーツ施設を整備し、年間を通して大会や各種イベントを開催することにより、本市のスポーツ・健康施策のイメージがなお一層向上する。また、観光・産業振興に関しても多大な効果が期待できる。

ただ、**課題もある**としてあります。地権者が多く、すでに土地利用については砂利採取、残土埋め立て、資材置き場等の利用形態を望む地権者もおり、時間を要することが考えられる。また、現状は柳島小和田線よりも約2m低いため、地下水位が高い。また、公共下水道が敷設されており、場合によっては付け替え費用が必要である。などですが、総合的な判断によれば柳島の方が適地であるとしてあります。

今後の整備スケジュールは、今年度地元説明をし、来年度用地測量、平成22年度都市計画決定、23年度用地買収を終え、24～25年度に施設建設、26年度から路用開始、となっています。